

# 協同の「絆」で東日本大震災被災地支援活動を展開

## ◆ JAグループ愛媛 約2,300万円募金する

全国のJAグループでは緊急救援のため、2011年3月14日から復興支援募金活動に取り組みました。募金活動では、JA組合員やJAグループ役職員をはじめ、JAグループ以外の組織からも多くの募金が寄せられました。寄せられた募金は、東日本大震災復興・再建対策JAグループ中央本部を通じて、被災した各県のJAグループ災害対策本部へ贈呈しました。

JAグループ愛媛では、2011年4月から12月にかけて1口1,000円以上の募金をJAグループ役職員、組合員、青壮年部・女性部に対して要請し、総額23,992,830万円募金しました。

### 【募金内容】

・2011年4月……	19,633,029円	・2011年5月……	1,776,851円
・2011年6月……	360,985円	・2011年7月……	1,306,465円
・2011年8月……	35,671円	・2011年9月……	250,014円
・2011年10月……	166,951円	・2011年11月……	23,002円
・2011年12月……	439,862円	合計金額：23,992,830円	

## ◆ JA共済連 東日本大震災の損害査定に迅速対応

東日本大震災でのJA共済の支払額は8,816億円(平成24年2月末現在)です。過去最大の阪神・淡路大震災の1,188億円(建物被害のみ)を超える支払額となります。内訳は、建更・団火が約8,500億円、生命総合共済が約316億円となっております。また、損害調査のため震災直後から今日まで全国本部や各都道府県本部からの派遣は延べ約2,600名余り、愛媛県本部としても延べ48名の職員を被災地へ派遣いたしました。



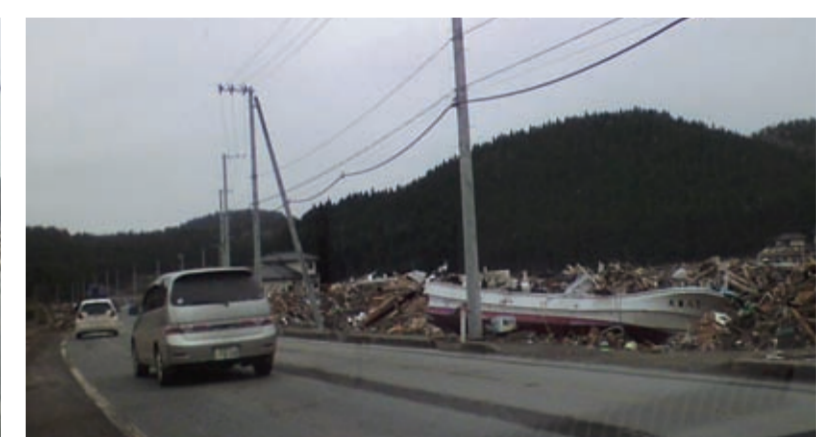
(仙台空港付近の様子)

空港駐車場の車が津波で滑走路等に押し流されたため、周辺の空き地に並べられています。



(宮城県本吉郡南三陸町 内陸部の様子)

- ・津波の高さは30m以上あったと言われ、内陸部まで津波が押し寄せています。
- ・内陸部まで漁船を押し流していることから、地震発生による津波の力はとても大きなものだったということが分かります。



(宮城県本吉郡南三陸町 沿岸部の様子)

- ・津波の猛威で町全体が瓦礫となっています。
- ・ほとんどの木造住宅は津波によって流され、鉄骨建物においては骨組みだけ残っています。

